

ちやーどき【茶時】

1 茶を摘みとる時期。  
茶摘み時。

2 茶を飲む時刻。



夏も近づく八十八夜。

茶時を迎えた町は、にわかにも色めきだちます。

丹精込めて育てた茶葉が、受け継がれてきた技術が、光り輝く季節。

「川根茶魂」の心意気をお伝えします。

特集 「いざ、茶時」



# 祈る 献茶式



## 川根茶のさらなる発展を祈念

4月16日、町茶業振興協議会（会長・鈴木敏夫町長）主催の献茶式が、フォーレなかかわね茶茗館にて挙行されました。

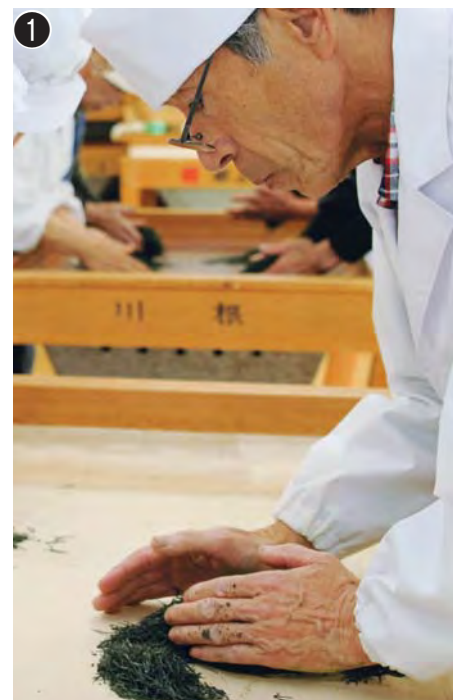
式典には町内の生産者や茶商など茶業関係者を中心に約80人が出席し、本格的な新茶シーズンの到来を前に、川根茶のさらなる発展を祈念しました。

祭壇にささげられた献上茶は、式典前日に町農林業センターにて摘採され、県茶手採保存会川根支部の皆さんによって丁寧仕上げられました。

鈴木町長は「茶畑の緑が鮮やかになり、新茶シーズンの到来を実感する。特に今年は、天候と茶価の安定を祈願して茶を献上した。長い歴史と伝統を持った川根茶の振興のために、引き続き関係者一丸となって取り組んでいきたい」とあいさつし、今後の茶業発展に向けて決意を新たにしました。



▶祭壇に設けられた「川根茶魂」の木碑



①式典前日の手揉み。製茶用作業台の温度を測りながら「川根揉切流」の伝統技法で仕上げた。／②茶缶から出された献上茶。1本1本が鋭い針のような茶葉は、崩れることなく盛られた。／③祭壇に献上茶を献上する鈴木町長。厳かな空気が会場を包んだ。